

記者発表（発表・資料配付）				
月／日（曜日）	事務所等名	電話	発表者（担当者）	配付先
1月18日（木） 10:00	兵庫県芸術文化協会 文化振興部 事業第1課	078-321-2002 内線6556	文化振興部長 中山 五六 （事業第1課長 石橋 美奈子）	県政記者クラブ

令和5年度「^{せきそうしゃ}亀高文子記念—赤艸社賞」受賞者の決定について

兵庫県芸術文化協会では、第一線で活躍する女性洋画家を顕彰する「亀高文子記念—赤艸社賞」を贈呈しています。今年度は、下記の1名に贈呈します。

記

1 受賞者

氏名 (年齢)	^{すぎやま} 杉山 ^{ともこ} 知子 (65歳)
分野	美術作家
住所	神戸市
プロフィール	<p>高校生の頃に亀高文子さんが設立した赤艸社で絵画を学び、京都市立芸術大学大学院を卒業。身近な日常を題材に絵画を制作している。1986年8月号の『美術手帖』の特集「美術の超少女たち」で若手女性作家39人の一人として紹介され、関西の1980年代を代表する「関西ニュー・ウェイブ」として注目された。1994年に社会と芸術を結ぶ新たな仕組みを作る、神戸市を拠点とした「C. A. P（芸術と計画会議）」を設立し、2015年まで代表を務めるなど、40年以上にわたり神戸を拠点に活動している。</p> <p>【主な受賞歴】 1998年 兵庫県芸術奨励賞受賞 2006年 神戸市文化奨励賞受賞 2007年 国際交流基金地球市民賞（「C. A. P.（芸術と計画会議）」で受賞） 他</p> <p>【主な活動歴】 2018年 ニュー・ウェイブ 現代美術の80年代（国立交際美術館/大阪） 2019年 山村コレクション展（兵庫県立美術館/兵庫県） 2022年 兵庫県立美術館 開館20周年 関西の80年代 他</p>
決定理由	自身の体験や心象風景を大型のインスタレーション化し、注目を浴びる。出身地の神戸において、社会と芸術を結ぶ「C. A. P（芸術と計画会議）」を設立し、中心メンバーとして活動を行う。作家として、或いは組織者として神戸の芸術文化活動に大きく寄与していることを高く評価するものです。

(※年齢は、記者発表日現在)

2 贈呈式

日時 令和6年2月15日（木）14時から

場所 兵庫県民会館1階 特別展示室（神戸市中央区下山手通4-16-3）

3 表彰の内容

賞状及び副賞 20万円を贈呈